

平成31年度当初予算

「選ばれる都市」創造元年

新たな時代にふさわしい

魅力あふれる都市を築く積極予算



鹿児島市長 森 博幸

新時代(NEW AGE)の幕開け

「選ばれる都市」を目指して

歴史的な皇位継承と改元を機に、新たな時代が幕を開けようとしています。

本市にとっては市制施行130周年の節目の年にも当たり、新時代にふさわしい都市づくりをさらに進めていかなければならないと決意を新たにしています。

本市は、鹿児島ならではの豊かな歴史・文化や自然、それらに育まれてきた多様性を受け入れる風土など、大きな潜在力を有しています。私は、31年度を、この多彩な魅力を効果的に発信しながら、国内外の多くの人々から「訪れてみたい、住んでみたいまち」として選ばれ、また、市民の皆さんには「いつまでも暮らしていきたいまち」となる、そのような「選ばれる都市」の創造を図る起点的年と位置付け、過去最高となる積極的な予算編成を行いました。

新時代を切り拓いていく諸施策の推進に当たっては、「まち」の活気(Activity)、成長(Growth)、「ひと」の勢い(Energy)の成長(Growth)、「ひと」の勢い(Energy)と「まち」の視点を掲げ、まちの総合力をさらに高めていきたいと思っております。そして、本市を愛し、思いを寄せる多くの市民や事業者の皆さんと心を一つにし、力を合わせながら、真に豊かさを実感できる都市の実現に全力で取り組んでまいります。

1 「新時代」を切り拓く3つの視点

国内外の多くの人たちから「訪れてみたい、住んでみたいまち」として選ばれ、市民の皆さんが生き生きと輝きながら「いつまでも暮らしていきたいまち」となる都市の創造に取り組みます。



2 一般会計当初予算2670億円の内訳

今年度の本市の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた当初予算は、4611億円。このうち一般会計当初予算は2670億円と過去最高の予算規模となりました。

【財政課 ☎ 216・1155 FAX 216・1108】

歳出で最も多いのは、子育て支援や高齢者の医療などに使われる民生費約1,299億円で、予算全体の半分近くを占めています。

歳入で最も多い市税は、昨年度に比べ個人市民税の増などにより約18億円の増額。国庫支出金は、社会保障関係に要する経費の増などにより64億円増えました。繰入金は、基金からの繰り入れの増により11億円増えました。

